

## 5 領域（健康・生活）とのつながりを明確化した支援内容

●項目	●ねらい
健康・生活	①健康状態の維持・改善 ②生活リズムや生活習慣の形成 ③基本的生活スキルの獲得
●具体的な支援内容	
<p><b>【健康状態の把握】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>健康状態の常なるチェックと必要な対応を行う。その際、意思表示が困難である子どもの障がいの特性及び発達過程・特性等に配慮し、小さなサインから心身の異変に気づけるよう、きめ細かな観察を行う。</li> <li>必要に応じて、血圧測定、酸素濃度測定を行い、健康管理に努める。</li> </ul> <p><b>【健康の増進】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>睡眠、食事、排泄等の基本的な生活のリズムを身に付けられるよう支援する。</li> <li>健康な生活の基本となる食を営む力の育成に努める。（クッキング・畑・食育など）</li> <li>楽しく食事ができるよう、口腔内機能・感覚等に配慮しながら、咀嚼・嚥下、姿勢保持、自助具等に関する支援を行う。</li> <li>病気の予防や安全への配慮、指導を行う。</li> </ul> <p><b>【訓練の実施】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>日常生活や社会生活を営めるよう、それぞれの子どもに適した身体的、精神的、社会的訓練を行う。 （※受診練習・検診練習などを含む）</li> </ul> <p><b>【基本的生活スキルの獲得】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>身の回りを清潔にし、食事、衣類の着脱、排泄等の生活に必要な基本的技能を獲得できるよう支援する。</li> </ul> <p><b>【構造化等により生活環境を整える】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>生活空間を構造化し、わかって行動出来るように支援する。</li> <li>さまざまな遊びを通して学習できるような環境を整える。</li> <li>障がいの特性に配慮し、時間や空間を本人に分かりやすく構造化する。</li> <li>切り替えの練習をする。</li> </ul>	